

指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者名	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
開催日	令和4年（2022年）12月6日（火）
開催場所	総合保健福祉センター分館 講堂2階
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 安田 知美氏 箕面認知症家族会「びわの会」理事 鶴岡 裕見子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会会長 岡本 有子氏

【概要】別添のとおり

内容

令和4年12月6日(火)に総合保健福祉センター分館2階講堂にて、指定管理者評価に係る合議を実施しました。主な内容は下記のとおりです。

1) 各サービスの利用状況などについて

指定管理者から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フロア内でのご家族のかたを含む外部のかたとの接触を禁止していることや、ボランティアや福祉体験の受け入れ、行事を中止したこと、また、緊急事態宣言が解除されているときは1階ロビーでの予約制による面会実施や、令和4年3月からは、オンライン面会をスタートしたとの報告がありました。また、令和3年度中、入所者の感染はなかったとの報告がありました。

そのほか、利用者向けアンケートについて、回答の負担軽減のため項目を半分にするるとともに、家族に送付していたアンケートを入所利用者で回答可能なかたは、直接お渡しして記入いただいたり、スタッフによる聞き取りにて回答いただいた結果、アンケートの回収率が20%近く上がったとの報告がありました。令和4年度からは、新たにご家族へのアンケートを実施しており、職員の接遇に関するアンケート結果では、利用者のご家族では、満足度に差があることについて、フロア内に上がっていただけないご家族と利用者では、対応する職員が異なるため差が出ていると考えており、今後の対応について工夫し改善していきたいとの説明がありました。

また令和元年度からアンケートでご意見をいただいていた、ウォシュレットの設置希望については、令和4年11月にすべてのトイレに設置が完了したとの報告がありました。

合議メンバーからは、コロナ禍の制限がある中での、リハビリへの工夫について質問がありました。指定管理者からは、ADLの維持向上について、朝の体操のほか、新たに夕方の体操を取り入れており、利用者からは概ね好評をいただいているとの説明がありました。

2) 総評

感染対策を講じながら、状況に応じて、可能なプログラムを工夫して実施、また利用者から希望のあったウォシュレットの設置完了、より多くの利用者の声を聞くため、アンケートのとり方を工夫するなど、利用者やご家族の希望に添えるよう創意工夫しながら運営しており、今後も継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。